

ネイティブ アルカリゲネス属 コリンオキシダーゼ

Cat. No. DIA-184

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 酵素学において、コリンオキシダーゼ(EC 1.1.3.17)は、次の化学反□を触媒する酵素で

す: コリン + O2 \leftrightarrow ベタインアルデヒド + H2O2。したがって、この酵素の二つの基質はコリンとO2であり、二つの生成物はベタインアルデヒドとH2O2です。この酵素は、酸化還元酵素のファミリーに属し、特に酸素を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。

用途 この酵素は、ホスホリパーゼDと結合した際のホスホリピッドの酵素的測定や、臨床分析にお

けるコリンエステラーゼ活性に役立ちます。

別名 コリンオキシダーゼ; EC 1.1.3.17

製品情報

由来 アルカリゲネス属

外□ 黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

形態 フリーズドライパウダー

EC番号 EC 1.1.3.17

CAS登□番号 9028-67-5

分子量 約95 kDa

活性 Gradelll 10U/mg-固体以上(安定剤約20%を含む)

混入物 カタラーゼ **< 1.0×10**²%

等電点 4.1±0.1

pH安定性 pH 7.0-9.0 (30°C, 2時間)

最適**pH** 8.0-8.5

熱安定性 37°C未□ (pH 7.5、10分)

最適温度 40-45°C

ミカエリス定数 $2.84 \times 10^{-3} M (コリン) 、5.33 \times 10^{-3} M (ベタインアルデヒド)$

構造 1モルのFADが酵素のモルに共有結合しています。

囮害剤 p-クロロ水銀ベンゾエート, Cu++, Co++, Hg++, Ag+

安定化剤 EDTA、牛血清アルブミン、アミノ酸(グリシン、ナトリウムグルタミン酸など)

保管・発送情報

安定性 -20°Cで少なくとも6ヶ月間安定しています